

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	特別演習Ⅱ						授業形態	講義・演習	
科目コード	590145	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	柚木崎 千春							ICT活用	○
授業概要	現代人には、世界標準としての知的生産能力である「21世紀型スキル」が求められている。とりわけ、①相手の発言に耳を傾け、証拠や論理、感情を的確に理解して解釈する力、②相手の考えだけでなく、自分の考えに誤りや偏りがないかを振りかえる力が重要である。本科目では、論理的・分析的に考える力を育成しつつ、社会的常識、読解力、コミュニケーション力を養成する。それらを通じ、生活に必要な情報を正しく読みとり、人に正確に伝え、考えの異なる人の意見に耳を傾けつつ多様な人々と協働する力と、責任感を持って自律的に社会に関わり、倫理的・道徳的判断を行い、社会的課題を改善する意識を養う。さらに、社会的課題を地球規模の視点で捉え、ダイバーシティを目指す社会の一員として責任ある行動がとれる力も育成する。 また、本科目は学生が有意義な学生生活を送れるよう支援し、社会人になるにあたって意識を高めるための指導・助言をするための授業でもある。したがって、本科目では①本学の建学の精神やディプロマ・ポリシーの理解、②社会人としての教養の養成、③教員との交流を通じたコミュニケーション能力の向上等も目的としている。								
関連する科目	特別演習Ⅰ								
授業の方法と進め方	講義と演習を織り交ぜて全15回の授業を構成する。ふりかえりシートやふりかえりレポート、課題や発表等を課すことにより、受講者の理解度を確認する。各回の講師は、受講者からの質問を随時受け付ける。								
授業の達成目標	① 相手の立場に立って自分の考えを述べ、積極的な姿勢で相手の話を聴くことができる。【態度・志向性】 ② 多様な背景を持つ人とコミュニケーションをはかることができる。【態度・志向性】 ③ 情報を鵜呑みせず、自分で調べたりなどして、その真偽を確認することができる。その上で情報を自分で分析し、その結果に基づいて自分の考えを述べることができる。【汎用性技能】 ④ 社会の一員としての自覚を持ち、世の中の事柄を世界との関係の中で考えられるようになる。自分の行動が世界に影響を及ぼすことが理解できる。そして、社会の一員として課題改善に向けて関わるることができる。【態度・志向性】 ⑤ 将来あるべき姿を思い描き、それに向けて一歩ずつ努力して前進し続けることができる。【態度・志向性】 ⑥ 職業を通じて社会に貢献する方法を考え、実践に向けて取り組むことができる。【態度・志向性】								
学位授与方針(DP)との関連									
授業時間外学習【予習】	〈予習〉(2時間程度) ・ 毎回授業を受講する前に授業のテーマを確認し、そのテーマやキーワードについて調べておくこと。 ・ コース・アドバイザーの授業に関しては、担当教員の指示に従うこと。								
授業時間外学【復習】	〈復習〉(2時間程度) ・ 授業を通じて考えたことについて、600～800字程度のレポートを作成する。 ・ 授業で学んだ内容を振りかえり、要点を整理しておくこと。 ・ 理解が不十分であった部分は、各回の担当教員に質問するなどして疑問を解消しておくこと。								
課題に対するフィードバック	フィードバックは、各回の担当教員が受講した学生に対して与える。								
評価方法・基準	【オムニバス授業（全8回）＋就職支援ガイダンス(全2回)＋教養講座】 ① ふりかえりシート ：20% ② 授業貢献度 ：10% ③ ふりかえりレポート：40% 【コース・アドバイザーによる活動（全4回）】 課題・発表 ：30%								
テキスト	必要に応じて指示する。								
参考書	随時、授業で紹介する。								
備考									